

年頭のご挨拶

理事長 橋本 浩

檜の木福祉会のみなさま、明けましておめでとうございます。昨年は、夏の暑さが異常で、それも初夏から晩秋近くまで続き、年末には急に寒くなりました。高齢化の進む社会では、体調を悪くして、救急車の利用が目立って増えていました。このころわたしは、足繁く「喫茶らちえっと」へ通い、「どうしたら檜の木福祉会のみんなが幸せになれるだろうか」と考え続け、悩んでいたその時でした。

窓の外を昼食後の散歩で支援員さんに手を引かれ、道路を歩いていく利用者さんの姿が眼に映った。それは無理に引かれていくように感じられ、喜んで先に行く子供のように見えなかった。これはわたしが、現職時代に培った考え方と実践には、当てはまらない行動形態になっている。こんな風景は、どの事業所でも通常実施されていて地域では理解されにくいことである。地域社会との共生をめざす檜の木福祉会では、天候・時間・コース等の状況に応じたプログラム編成ができる若手リーダーを養成しなければならない。

わたしが外から観察した些細な面からの考え方ですが、利用者さんの日常生活の行動を細かく見てみると、施設の管理者・支援員や保護者など近くにいる人には分からない進歩に気付きます。特に各施設の接客係りとして働いている利用者さん（例えば、喫茶・らちえっと）の態度は、誰でも初期には急激に成長して誰もが納得できます。他の就労支援施設の利用者さんもとときどき作業中の様子を視察に訪れますと、目や手の動きの違いに気が付きます。直接お手伝いをしています支援員さんの熱気も伝わってきます。かしの木の会の皆さん、現場を支える若い人たちの頑張りに大いに期待し、応援・協力をお願いいたします。

私の夢ということで、稲沢市老人クラブ連合

会新聞に投稿した「趣味で生きる私の人生」を抜粋して紹介させていただきます。

机の上に「定年からに人生の愉しみ方」山崎武哉著三笠書房発行がある。行きたいように生きられる「本当の時間」とあるが、それでは「手遅れ」だと私は考える。

人生にも趣味にも、ホップ・ステップ・ジャンプがあると思う。

- ①読書人生は、現在も購入継続中
- ②絵画人生は、版画収集・ギャラリー展示
- ③旅行人生は、本格的には20代～30代
国内は40代、海外は40代と65才～
- ④最後のこれは、趣味とはいえないが、私の人生の究極の目標である「ボランティア活動」である。

小学校4年生のときに新憲法が公布された。きっかけは、当時の学級担任・服部とめ子先生の＜子供の自主性を尊重する新しい指導方針＞だった。クラス全員が目覚め感化された。私の教師生活40年は人生のステップ。今後の私の活動をジャンプの段階と位置づけるならば、過ぎた民生児童委員・保護司活動から、地域福祉・老人福祉・障害者福祉へと領域を広げ、ボランティアに生きる人生を歩み続けます。



新しい年をむかえ、檜の木福祉会の皆さんが本当に幸せを感じられ、自由と平等の尊ばれる社会福祉法人にしたいと、経営者の代表として約束します。

平成24年度

平成25年12月1日
社会福祉法人 櫻の木福祉会
法人事務局

決算報告書

(千円)

貸借対照表			
資産の部		負債の部	
流動資産	865,340	流動負債	325,421
固定資産	971,763	固定負債	217,415
		負債の部合計	542,836
		基本金	194,645
		積立金	409,273
		次期活動繰越収支差額	690,349
		純資産合計	1,294,267
資産の部合計	1,837,103	負債及び純資産の部合計	1,837,103

事業活動収支計算書		
勘定科目		金額 (千円)
収 入	福祉事業活動収入	935,200
	就労支援事業収入	37,819
	計	973,019
支 出	福祉事業活動支出	831,025
	就労支援事業支出	34,384
	計	865,409
事業活動外	収入	139,990
	支出	141,206
特別収支	収入	40,038
	支出	0
当期活動収支差額		146,432
前期繰越活動収支差額		594,417
その他の積立金		50,500
次期繰越活動収支差額		690,349

地域コーナー①

かしの木フェスティバルを終えて

1月3日（日）に富田山グラウンドにて、「第13回かしの木フェスティバル」を開催しました。心配された天気も好天となり、来賓の方や地域の皆様を初め、多くの方にお越しいただき盛大に開催されましたことを厚く心から御礼を申し上げます。

会場内では檜の木福祉会グループや尾張地域の福祉事業所による授産商品や模擬店の販売を行い、模擬店についてはたくさんの完売報告をさせていただきました。



ステージでは、オーケストラやよさこい踊り、大道芸人様によるパフォーマンスで来場者様と一緒に楽しみました。特に大道芸人様はその場の雰囲気やキャッチするのがとてもうまく、たくさんの温かいお客様の笑いを誘っていただきました。近隣の催し物があり、仮装されたお子様が来場され、急遽、一緒にメインのパフォーマンスをされました。初めは緊張気味だった表情が、最後には笑顔になり、お子様には良い思い出になったのではないかと思います。

また、スタンプラリーと障がい者体験では車椅子や杖など実際に体験してみることで理解を深めました。実際に車椅子で段差などを運転したり、アイマスクをかけて鈴の音と杖を頼りに歩く体験をしてもらうと、「とても難しい」「こわい」と感想を話されていた。

フリーマーケットについても多くの方に参加していただき、会場をより盛り上げていただきました。

かしの木フェスティバルのテーマは「つなごうととて ひろげよう みんなのわ」です。近年、障害者福祉施策を取り巻く環境がめまぐるしく変化しておりますが、障がいのあるなしに関わらず地域で普通に暮らすというのが大きな目標だと思います。



かしの木フェスティバルを通じて、障がいのある方が一生懸命模擬店でがんばっている姿、お客様と一緒にイベントを楽しんでいる姿、地域のボランティアとフェスティバルを盛り上げている姿など、同じ時間を共有することによって、より理解が深まったと思います。

スタッフ一同、最大限の努力をしてきましたが十分でない点が多々あったと思います。今後、更なる改善に努めていきたいと思っていますので、皆さま方のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



かしの木フェスティバル実行委員長
春日井 将史

第13回かしの木フェスティバルありがとう

第13回かしの木フェスティバル（11月3日開催）に、ご支援ご協力ありがとうございました。

☆第13回かしの木フェスティバルのご協力者数

- 協賛協力業者 27件
- ボランティア協力者 156名
- バザー等出店施設・団体 22軒
- 当日来場者 約1,000人（関係者除く）



☆第13回かしの木フェスティバル収支報告（H25.11.30 現在）

支 出

- 事業費 612,936 円
- 模擬店材料費 20,000 円
- バザー材料費等 704,161 円
- 次期繰越金 277,988 円

支出の合計 1,615,085 円

収 入

- 協賛金収入 237,000 円（27件）
- 協力金収入 500,000 円（10件）
- 模擬店収入 115,850 円（3件）
- バザー収入 704,161 円（他施設除く）
- その他の収入 58,074 円（来賓ご祝儀等）

収入の合計 1,615,085 円

なお、次期繰越金は、檜の木福祉会の将来必要な事業資金として積み立てさせていただきます。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に・・・

協賛業者等の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体等の皆様、バザー出店施設等の皆様、不用品バザーに物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。

（フェスティバル実行委員会）

フェスティバルにご協賛を頂いた方々

（50音順・敬称略）

青山歯科医院

（株）キッチンティ カワサキ

野田養鶏所

浅井商店

（株）ジーケーエス

古川安美

（株）アトム保険

白木屋米穀店

花のモウリ

（株）壺番屋

鈴木クリニック

（有）マツモト園芸

（有）イワコシ

（株）タクセイ

丸光商店

（株）オオノ

中日新聞起南部専売所

ミートショップまつなが

大野設備工業（株）

（資）ツバメプロパン

ミートブティック末広

（株）大藤

ナゴヤフード（株）

村上 雅子

春日井豆腐店

のだ電気（株）

よなかや

地域コーナー②

木曾川高校ブラスバンド部演奏会

檜の木福祉会全事業所は、平成25年9月28日に木曾川高等学校のブラスバンド部の生徒さんによる演奏会に招待していただきました。利用者の皆さんは、毎年この演奏会を大変楽しみにしています。



ステージでは、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のオープニングテーマのような流行の曲や「踊るポンポコリン」などのアニメソング、さらには利用者のリクエストした曲などが演奏されました。



迫力ある生演奏に、最初は椅子に腰掛けていた利用者の皆さんもステージの前に陣取り、思い思いに手拍子を取ったり踊ったりしながら演奏を楽しむことができました。ブラスバンド部の生徒さんたちは、アニメソングを演奏される時にはアニメのキャラクターに扮し、歌いながら振り付けの披露もありま

した。最後に、アンコールにも応えていただき参加者全員ハッピーな気分と感謝の気持ちでいっぱいになりました。



この演奏会が開催された、木曾川高等学校の体育館の玄関前には階段がありましたが、保護者の皆さんのサポートにより車椅子の方でも問題なく体育館へ入ることができました。また、演奏以外の面でも十分にご配慮をいただき心から感謝いたします。

言葉を用いての意思疎通も大切ですが、音楽には心の底から力が湧き出てきたり、笑い合ったり踊ったりする事でみんなが同じ楽しい気持ちになることができます。今回の演奏会を通じて、音という言葉で私達の心に語りかけてくる音楽の素晴らしさを実感いたしました。



生徒のみなさんと一緒に 楽しませてくださった
大池校長先生（左）と 顧問の木本先生

木曾川高校の皆様、木本先生、素敵な演奏をありがとうございました。また、来年も心から楽しみにしておりますので、よろしくお願いいたします。

檜の木の里 仙石 靖徳

施設コーナー①

ゆうくケアホーム第1棟起工

愛知県では、他県に比べて人口あたりのケアホーム・グループホームの整備率がとても低い状況にあります。そこで、国庫補助の施設整備補助金については、ケアホームやグループホームへの採択が多くあると聞きます。また、一宮市では、ケアホーム・グループホームの利用希望者が多く、そのニーズにホームの整備が追いついていない状況にあります。そこで、一宮市は昨年から3年間10棟に限り、法人で短期入所付のケアホームを整備する場合に、市単独の補助金をつけました。このように、愛知県も一宮市も、利用ニーズにこたえるために、ホームの整備に力をいれていることがよくわかります。

樫の木福祉会では、地域移行と生活面の自立を支援するためのケアホームを平成18年5月の「こぶしの家」を最初として、順次整備してきました。そして、26年4月に一宮市祐久の地域に、国庫補助金の助成を受けてまた新たなケアホームが建設される予定です。



《完成イメージ図》

今回のケアホーム整備は、2カ年にわたっています。25年度は、男性5名の入居者に、短期入所2名の利用を見込んだ棟を建設します。また、26年度は、その棟のすぐ南に、女性5名の入所者に、短期入所2名の棟を建設する予定です。

今回のケアホームの整備にあたっては、地元説明会の折に、地域の方々から色々な意見をいただきました。祐久という地域は、樫の木福祉会の本部からも近く、「さつきの家・かえでの家」が22年に開所した地域でもあります。それでも、やはり利用者のことで心配してみえる方があったり、福祉会のあり方にご意見をいただいた方もありました。福祉というものは、それを支える地域があってはじめて行なえるもの。それには、地域の方々とうっくり話し合っ、理解しあって福祉の土壌がつくられる。また、その土壌において、施設と地域が支えあって福祉が育つということをして…。あらためて勉強をさせていただきました。



《地鎮祭》

今回、25年度、26年度と2棟の整備のお話をしてきましたが、この整備によって利用希望のニーズにこたえたとは言えません。まだまだ、利用希望者のリストには多くの方の名前が連なっています。また、相談支援の事業所からも、緊急に居住施設を希望する方があります。

これらのニーズに応えていくためには、1年に複数のケアホーム・グループホームの整備をしていく必要があります。新築ばかりではなく、中古住宅の整備、賃貸住宅の利用も行なっていく必要があります。これからも、法人としてますますケアホーム・グループホーム整備に力を注いでいく必要があります。

只井

施設コーナー②

どんぐり クッキー

「このクッキーには、どんぐりが入っているの？」一宮駅名鉄百貨店東玄関にて、檜の木作業所「どんぐり」の手作りクッキーを手にとったお客さんが、つぶやいた一言です。

昨年10月から、一宮市障害者自立支援協議会・就労支援部会が、「楽しみ・つながる・結ぶ」をテーマに福祉作業所の製品を地域のみなさんに提供するイベントです。（詳細は、本紙・掲示板にて紹介）



このイベントは、檜の木作業所のクッキー作りに携わっている職員にとって、たいへん勉強になっています。

まず、第1にクッキーの味です。一宮市内の施設・事業所から、その自慢の味が並ぶため消費者の方は、食べ比べができます。最初は、ものめずらしさも手伝って、色々と買われますが、回を重ねるごとに、買われるものは人気のあるものに限定されてきます。

次にパッケージです。袋詰め仕方、商標シールの貼り方など、すべてのものに繊細さと丁寧さが要求されます。

名鉄百貨店などにならぶ、他の商品と同じ品質が求められています。

そして、販売の仕方。ポップ（値段表）のデザイン、大きさ、商品のディスプレイ（展示方法）も、売れ方に影響がでます。

「どんぐり」の店舗は、平成21年に県の補助金・施設基盤整備事業により、檜の木作業所の南面に、クッキーやパンを販売する店舗として、建設されました。お菓子作りという生産活動を通して、ハンディを持った方々が、この地域で暮らす方々との交流を目指して取り組んでいます。



今日までには、パンの製造販売が、「わがんせ」になって「どんぐり」の販売品目が変わったり、担当者が異動になり大切にしてきた味が、少しかわったこともありました。

今、「どんぐり」のクッキーに関する、味や焼き方についてのご意見や、応援のメッセージが、数多く届いています。

お客様の声に耳を傾けながら・・・また、一宮駅構内の福祉バザー等で、他の施設の商品と比較しながら・・・切磋琢磨して、良い商品をつくっていきたいと思っています。

また、昨年秋から毎月17日の「どんぐりデイ」（土・日・祝日のときは、翌営業日に開催）というサービスデイをどんぐり店舗で行っており、プレゼントがあります。より多くの方々に、お店へ来ていただけるように職員で色々なアイデアを出し合っています。

先月中旬、西春にお住まいの方から「一宮駅で『どんぐり』のクッキーを買いました。とてもおいしくて感動しました。また欲しいけど、尾西の方まで買いに行けません。送料を払うので、すぐに10個送ってください。届くのを家族で楽しみに待っています。」というお電話をいただきました。

作業所 成瀬佳美

かしの木の会コーナー①

バザー委員会

今回はバザー委員会の事業の一つ、手芸製作会について紹介いたします。

かしの木の里の西側、プレハブ〈きぼう〉内にて月2回のペースで、毎回十数名の方が参加して下さいます。その中の数名の方は、かれこれ十年近くの長きにわたり地域ボランティアとして関わっていただいております。

皆さんそれぞれが何か面白い新規商品はないだろうかと各地に出向いた際など商品リサーチを欠かさず、アイデアを持ち寄ります。そして、あーでもないこうでもないみんなで意見を出し合い、お茶を飲みながら楽しく時間を過ごしています。

そうやって、心を込めて、一針一針作った商品は各種バザーでの販売だけでなく、個別注文に対応もしております。

年間のバザー出店回数は十数回におよび、個別販売も含めて手芸品の売り上げは、年間40～50万円を計上しております。各地バザーに出向かれた方はご存知のことと思いますが、かしの木の会の手作り品は多種多様な品揃えに皆さん驚かれます。また、手前味噌ではありますが、品質の高さでもご好評をいただいております。誠にありがたいことと感謝しております。

今後も皆様にご満足いただける商品作り

に励んでまいりますので、お手元に使わなくなった布、毛糸、着物、手芸材料などございましたら、ぜひともご提供よろしくお願ひいたします。

話は変わりますが、東日本大震災の後、各地で手作り会と称して地域の方が集まるケースが増えていると聞いています。かしの木の会でも会員さんに限らず、地域の方にも気軽に参加していただいて、楽しい語らいの場として仲間作りをする機会にさせていただけますと大変うれしいです。

地域とともにある会として今後も続けてまいりますので、どうかご協力のほどよろしくお願ひいたします。

バザー委員会 青山



売れ筋商品の一部

子供用ベスト 1500円 ・ アクリルたわし 100円
刺し子財布 400円 ・ マカロンストラップ 300円
パッチワークカード入れ 500円 ・ 腕カバー 300円



プレハブ〈きぼう〉にて

掲示板

駅前販売プロジェクト

今回は、10月より行っている“楽しみ つながる 結ぶ”をテーマにした一宮駅前販売プロジェクトのご紹介をいたします。チラシをご覧になられた方、実際に立ち寄られた方もいらっしゃると思います。

この企画は、一宮市自立支援協議会の就労支援部会で話が進められてきました。

就労支援部会のメンバーには、市内の就労移行支援事業所、一宮市福祉課、ハローワーク、するーぷ、地元企業、ビジネス支援センターの方などがいます。障がいのある方の「働く」について考え、様々な取り組みを行っています。

その1つとして、駅前販売プロジェクトを企画しました。

そのテーマと目的については、

「楽しみ」：利用者（障がい者）の就労機会の拡充、就労意欲の増大、工賃アップによる生活の向上。

「つながる」：自主製品の販売を通して、事業所、利用者、市民、社会など、福祉を取り巻く様々なつながりをつくる。

「結ぶ」：施設紹介等により、就労希望者やボランティアなど人材確保を進め、地域福祉全体の底上げを狙う。

…です。



「どうなるか分からないけど、“まずはやってみよう”という心意気でやってみたら・・・「いつもの福祉バザーとは、全然違う」・・・というのが一番の感想でした。

いつもの福祉バザーですと、お客様の多くは福祉関係者であるとも言えます。しかし、この

駅前販売は、普通に百貨店などにショッピングに来た御婦人や通勤・通学途中、帰宅途中の方が立ち寄っていただけます。障がい福祉とはあまり縁の無かった方々にも知っていただく良い機会となりました。

また、売り上げに関しても今までのバザーとは違い、桁違いに大きな成果を得ることができました。これだけ売れると利用者・職員にとっても大きな喜びとなり、やりがいに繋がります。そして何より給料に反映できることが嬉しいです。わがんせでは、早朝から夕刻までパンの製造で大忙しで、駅前販売のみで500~700個/日のパンを作りました。

他法人の事業所さんの手芸品やプリンなどもたくさん売れていました。他の事業所さんと協力し合い喜びを分かち合えることで団結力が生まれてきます。



一般のお客様にリピーターになっていただくためには、商品価値を高めるために工夫を凝らしていくことも求められます。

このような取り組みを継続的に続けることで、より多くの方々に知っていただき、障がいのある方々が安心してらせる街づくりに繋がるものと信じています。

この催しは、不定期ですが毎月2日間行っていますので、機会があればお立ち寄り下さい。



ステップ 伊藤 豪

文芸コーナー

幸せのある国を訪ねて 6 南太平洋の島々編

一人で外国へ出かけたことが十数回あった。それはみな小さな国が多く、主に南太平洋の島国であった。海外旅行経験の少ない人は、「治安は大丈夫か」という心配がまず頭に浮かんでくるようです。事件を起こしても逃げ隠れするところがないので安心です。



サイパン島からジェットボートで1時間の距離にあるアメリカ領のテニアン島は、太平洋戦争のときには、米軍のB29爆撃機が終結して、ここから日本国土を直接空襲した基地でした。広島・長崎の原子爆弾もここで積み込まれましたが、戦争前は日本の工場があり神社の鳥居も残っていました。観光の途中では日本語のできる運転手兼ガイドさんの家でおいしい昼食もいただきました。

セントレアから機内食のビビンバを食べるために大韓航空を利用し、仁川空港経由を選んだフィージー。大きなホテルでは滞在中日本人・日本語には縁がなかったが、観光船の女性ガイドさん、若い男性のタクシー運転手さんは本当に親切でした。町の日本料理店一休には、20代の日本人の2グループ20人程が食事に来ていました。

グアム経由でパラオも訪問しました。ホテルのフロントに女子大生が二人実習に来ていました。

このホテルに客として宿泊していたのは、やはり自分ひとりでした。ホテルの食事がまずかったので、通りを歩いているいろいろ探しました。韓国料理屋さんのふぐ刺しのようにマグロをスライスし皿に並べられたのが900円、薄いたれでおいしかった。



帰り道に中国人経営の中華料理屋の2階にカラオケ「夕」を見つけ、フィリピン人のウエイトレスと裕次郎、ひばりの歌を5曲、大きな部屋を貸しきった形で愉しんでホテルへ帰った。

日本からは遠いニューカレドニアで泊り、翌日また3時間の空の旅、着いたところはバヌアツ王国の首都ポートビラ。5日間滞在したが、半日観光1回、2人から催行される1日観光、相手が見つかり島を1周した。



案内の運転手がフランス語、日本語の現地ガイドとフランス人のお嬢さんの4人で島を巡った。集まってきた子供と母親に、運転手が用意した飴を1本ずつあげると、本当に幸せそうな顔で見送ってくれた。

その後もこの国のホテルからはクリスマスカードや手紙を何度も送ってくれている。

本年3月には、トンガ王国を訪れます。

理事長 橋本 浩

お知らせコーナー

【行事予定 1月~3月】

かしの木音楽会

日時・・2月11日(祝)

開場・・12:30~

開演・・13:30~15:00

場所・・尾西グリーンプラザ
コンサートホール

Cafe ふらっと



新年は、
1/4~ 営業

〈1月のモーニングサービス〉

8:00~13:00

今年もよろしく
おねがいします

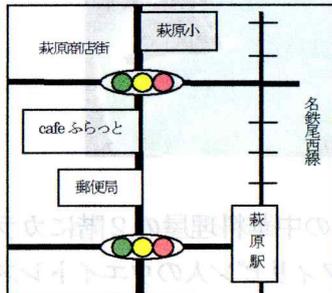


コーンスープ

コーンたっぷりの温かいスープです

他、数種類の中から選べます

都合により、変更になる場合があります



営業時間

8:00~17:00

ラストオーダー

16:30

定休日 日、祝日

0586-67-5080

一宮市萩原町串作女郎花

1617-8

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木の会 事務局	〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel 0586-63-2111
	かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
檜の木福祉会 (法人代表)	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200
☆檜の木作業所・どんぐり	一宮市富田字漆畑 16 番地	Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
☆檜の木園	一宮市富田字若宮 17 番地	Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
☆ステップ	一宮市明地字上平35 番地の1	Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241
☆かしの木の里	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-3270/61-1200
☆かしの木サポートプラザ	一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
☆らちえっと	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6117/61-1200
☆喫茶・らちえっと	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6135/61-1200
☆カフェふらっと	一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8	Tel 0586-67-5070
☆園芸センターさいた	一宮市西五城字山方21-1	Tel/Fax 0586-62-0039
☆わがんせ	一宮市祐久字九百坪 204	Tel/Fax 0586-68-2700/68-1250
☆相談支援ゆんたく	一宮市大和町馬引字引郷裏 42	Tel/Fax 0586-64-5882/64-5852
☆就業・生活支援する一歩	同上	Tel/Fax 0586-85-8619/64-5852
☆療育サポートプラザチャイブ	一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
☆居宅介護事業所 き一歩	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2122/61-1200
☆G. H. C はぎわら	一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787
☆G. H. C びさい	一宮市祐久字九百坪97	Tel 0586-68-6505
☆G. H. C やまと	一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787